

一般質問

9月1日から4日、7日の5日間にわたり、34名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをいただきました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



市民病院救急科開設へ前進！



おぜき重太郎 町長 救急医療の充実に向けて、これまでどのような取組を行い、どのような成果が得られているのか。
病院事業管理者 ベッドコントロール強化などの結果、26年4月から7月で応需率77・9%となり、25年度から9・3ポイント上昇しています。
救急医療体制の強化は、病院経営にどのような効果をもたらしているのか。
病院事業管理者 救急車からの入院割合は30%程度を維持し、新規入院患者数の増加につながり、経営改善に寄与していると考えています。
救急科の開設を含め、今後どのように救急医療体制を強化していくのか。
市長 病院事業管理者と緊密に連携し、必要な支援を行ってまいります。救急科設置は、27年度にできるだけ早期に設置を目指してまいります。



災害の備え、生活支援の改善を



大野まこと (日本共産党) 災害に備え、TKB48の立場で避難所の整備、アンダーパスの水没対策を求める。
防災安全部長 都指針に沿って、生活環境等の整備を進めています。災害用トイレは協定など多様な手段を確保し、炊き出し釜で温かい食事の提供が可能、状況に応じて段ボール簡易ベッドの供給を受けることとなっています。
道路部長 対策として、側溝や排水ピットの清掃、排水ポンプの点検を行っています。
補聴器購入助成制度の対象拡大・補助増額を求める。
いきいき生活部長 対象者の拡充や助成額の引上げは考えていません。
小児インフルエンザ予防接種補助成を近隣市でも利用できるようにすべき。
保健所長 26年10月からの助成は市内で始め、接種実績を着実に積み重ねていきたい。



町田リス園の施設なのかは



白川哲也 町田リス園をつくる会 物を無償で借り受けたNPO法人町田リス園が行っており、公の施設にはしていません。
地域福祉部長 慣例的に協働で事業を行ってきたものの、一概に割り切れるものではなく、今後、整理していくべき課題と捉えています。
現在町田リス園は市の公の施設ではないのか。
地域福祉部長 維持管理、運営については、その土地建物所有を無償で借り受けたNPO法人町田リス園が行っており、公の施設にはしていません。
公の施設とするには設置条例を定める必要がある。
その場合、運営手法は市の直営か指定管理者制度に限られるのか。他の方法はあるのか。
地域福祉部長 公の施設の管理は、地方自治法上、市が直接運営するか、指定管理者制度を導入して運営を委託する方法しかありません。



豪雨・子育て支援



友井和彦 (諸派) 豪雨への備えとして、アンダーパスなどの冠水対策を問う。
道路部長 側溝や排水ピットの清掃、排水ポンプの点検などを行っています。気象情報の注視と迅速な情報把握を行い、注意喚起を行うなど、安全確保に努めていきます。
物価高・インフレへの支援として、都市計画税の課税をなくすこともできるが。
市長 議員のご意見も踏まえながら、今後の計画を立てていきたいと思っています。
次世代の子どもたちのため「ボール遊び」ができる公園の拡大を求める。
都市整備担当部長 管理方法やほかの公園利用者への影響などを考える必要はありますが、地域の方々と話し合い、ボール遊びができるスペースをつくるという検討はできるのではないかと考えています。



陰山メソッドによる教育の成果



新井よしなお (無所属) 小山田南小学校で令和6年12月から始まった陰山メソッドの取組の成果は。
指導室長 令和8年度の全国調査で小山田南小は、25年度から国語は8ポイント、算数は10ポイント上昇しています。様々な教育活動の成果が現れたものと認識しています。
漢字前倒し学習で学年の漢字を習熟して漢和辞典活用による熟語習熟の意義は。
指導室長 国語科の指導方法及び指導計画の工夫の一つと捉えています。
基礎・基本を徹底した結果、記述式など応用力を問う問題も大きく伸び、無答が減ったことをどう評価するか。
指導室長 基礎的、基本的知識及び技能の定着によって児童が思考力、判断力、表現力を問う記述式問題に前向きに取り組む姿勢につながった可能性はあると捉えています。



夏期学校プール開放を求め！



渡辺徹太郎 夏期学校プール開放を求め！ 多くの市民から夏期学校プール開放を求める声が集まった。市はかたくなに廃止方針だが、市民の声を聴くとする市長の公約との整合性は。
市長 しっかりと市民の声を聞いた上で政策判断に結びつけてまいりますので、今回もその基本的な方針は変えるつもりはございません。
市民営化できなければ廃止される桜実会の存続のため
減免措置を含む配慮を求む。
いきいき生活部長 他市事例等も参考に必要な条件等の検討を進めているところでです。
半年に迫った花博において交通対策と町田の宣伝を。
経済観光部長 南町田グラベンリーパーク駅のブースでは、市の花や緑に関連した施設などのPRをしていきたい。
道路部長 カーナビなどを運営する業者へ協力依頼などを行っていると同っています。



切れ目のない支援体制の充実を



松葉ひろみ (公明党) 待機児童ゼロを目指す上で、東京都の制度も積極的に活用すべきではないか。
市長 保留児童の保護者も利用可能となります東京都の事業者連携型ベビーシッター利用支援事業の導入に向けた検討を現在進めているところでございます。
単身高齢者が万一の事態に陥った際のために、横須賀市の「終活登録事業」の仕組みが必要ではないか。
いきいき生活部長 国が検討している第二種社会福祉事業や他自治体の動向を注視しながら研究してまいります。
周産期グリーンケアとして、流産や死産を経験された方への産後ケア利用を。
保健所長 国から示されているガイドラインに基づき、現在、流産、死産を経験された方への産後ケアの利用方法について検討を進めています。



動画の情報発信／里山の環境活用



小沢タケル 町田市民会館 動画による情報発信の有用性への認識と現状は。
政策経営部長 情報発信媒体として有用と意識しています。町田市公式動画チャンネルを09年に開設し、以来、多くの動画を公開してきました。今後も動画を含め多様な媒体を適切に使い分けながら、効果的、効果的な情報発信に努めていきます。
小山田エリアにおける里山環境再生・活用について。
北部・農政担当部長 24年度に基本構想を策定し、民間活力導入に向けた課題などを整理しました。担い手が圧倒的に不足しているということについては、小山田エリアの拠点施設整備を見据え、散策やマウンテンバイク等のアクティビティ、農業体験、木工体験などのコンテンツづくりに向けた実証実験イベントを26年度中に実施します。



市街地／ごみ収集／パスポー



加藤真彦 町田市民会館 D地区の集客施設整備について。
市長 2000席から3000席規模の集客施設と広場が融合したモリノホール+パークの整備を目指すことを決断いたしました。
週5日収集体制に向けた進捗状況は。
環境政策課長 安定的な収集体制確保のため、週5日収集への移行が必要と考え、検討を進めているところです。
町田市へのパスポーセンター設置に向けた市の認識は。
市民部長 利便性向上と財政負担のバランスなどの課題があります。課題を解消できるのであれば設置する意義はあると考えています。課題にはパスポー発給の仕組みに関わることも含まれ、国や都にも影響がありますので、機会を捉えて協議してまいります。



災害協定／ごみ／生ごみ



小野寺まなぶ (公明党) やすい注意書きの工夫を提案。
循環型施設担当部長 袋の注意書きや市民への普及啓発について検討してまいります。
生成物の活用は、負担が重く、一定の支援を行うことが必要であると考えているが。
環境政策課長 陶磁器や廃食用油などを地域で無料回収して資源化しています。サイクル広場で回収する予定です。まずは市へ相談いただいで、解決策を考えてまいります。



交通渋滞対策にAIの活用を



若林章喜 町田市民会館 混雑時、信号を最適化する「スマート信号システム」の導入に向けた考えを問う。
道路部長 監視カメラからの協力の要請があった際には、連携して取り組んでいきます。
忠生地区まちづくりのこれまでの活動に対してどのような認識か。
市長 市と地域の皆様による徹底的な議論から形づくられたまちづくりへの思いが忠実に受け止めながら、地区の魅力をより一層高めてまいります。